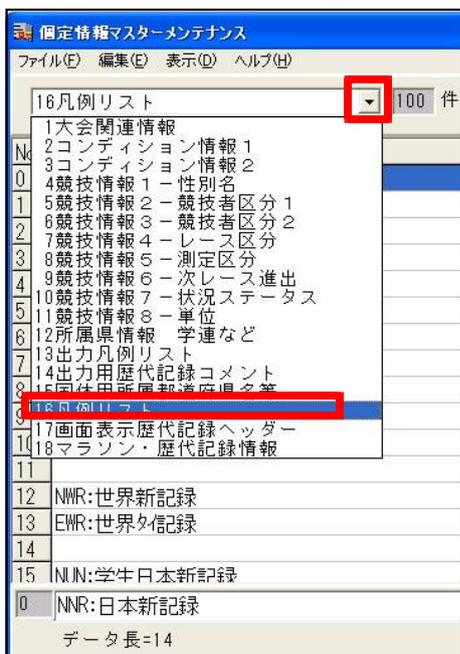


1. 審判長救済進出「R」明示機能

1. 審判長救済進出「R」明示機能

平成18年度全国情報処理担当者会議において、次ラウンド進出者に対する記号表記が改訂されました。順位による進出者には「Q」、記録による進出者には「q」をつけて示す従来のものに加えて、救済および審判長等の決定による進出者には「R」をつけて示すこととなりました。この機能はこの改訂に対応したものです。

- 1) 陸上システムメニューから「マスター・メンテナンス」をクリックし、サブメニューから「3. 固定情報マスター」をクリックします。
- 2) 個定情報の「16. 凡例リスト」を選択します。



- 3) 項目番号「99」に以下のようにコメントを登録します。
[R]: 審判長救済



登録後《保存》ボタンをクリックして保存し、《EXIT》ボタンで固定情報の編集を終了します。

- 4) 救済の処理をします。



1. 審判長救済進出「R」明示機能

例) 男子100mの予選が3組行われ2着+2で決勝に進出。しかし、予選3組で大阪経情大の高田選手が隣のレーンの競技者の転倒により妨害され途中棄権となった。審判長の裁定で決勝9レーンで走ることとなった。

5) 救済する競技者を表示します。

救済する競技者は番外「R」組にいます。左右どちらかに番外の選手を表示し、対象となる選手を選択します。



6) 対象の競技者をマークして指定のレーンに移動します。(今回の例では9レーンに移動します。)



7) 対象の競技者の上にカーソルを合わせ、右クリックするとサブメニューが開きます。サブメニューから《救済(設定/解除)》を選択します。



1. 審判長救済進出「R」明示機能

8)救済を指定すると、「氏名」欄が黄色に反転し、氏名の後に[R]記号が付きます。



9)以上で救済指定が完了しました。番組編成を完了し番編リストを印刷すると、「Q」「q」の代わりに「R」がつきます。

救済指定を解除する場合は、もう一度《救済（設定／解除）》を選択すると解除することができます。

◎記録入力・参照画面では...

救済処理された競技者の氏名の後ろに[R]記号付き、コメント欄に説明が表示されます。



2. 競技種別連続指定

現在競技種別は固定情報マスターの「5競技情報2－競技者区分1」と「6競技情報3－競技者区分2」の各1桁を組み合わせて2桁の種別を作成しています。

固定情報マスターメンテナンス		固定情報マスターメンテナンス	
5競技情報2－競技者区分1		6競技情報3－競技者区分2	
No.	データ	No.	データ
0		0	
1	グランプリ	1	一般
2	日本選抜	2	共通
3	大学・	3	実業団
4		4	高校
5	予備3	5	中学
6	予備4	6	小学
7	予備5	7	
8	予備6	8	A
9	予備7	9	B

- 「00」
- 「01」 一般
- 「02」 共通
- 「10」 グランプリ
- 「20」 日本選抜
- 「33」 大学・実業団 など

↑種別、前の1桁

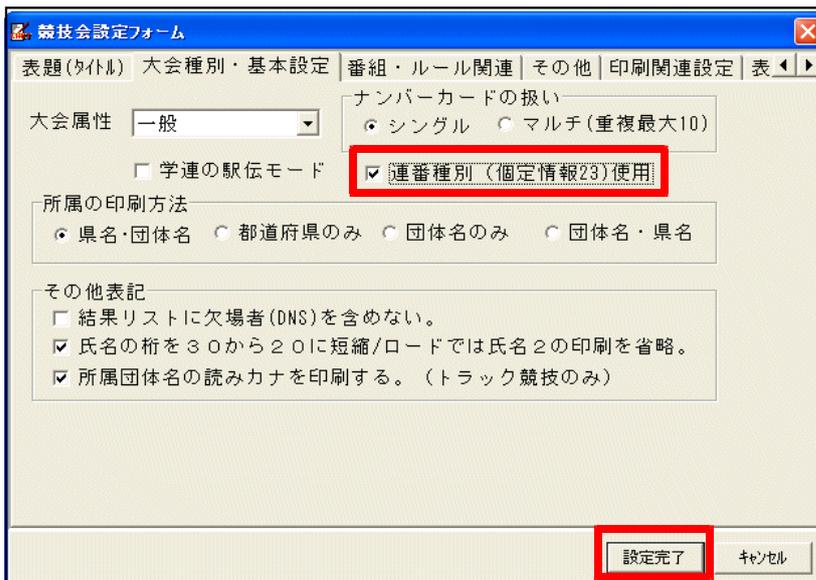
↑種別、後の1桁

しかし、この方法では2つの数字を組み合わせて種別を作るため、数に限界があります。

マスターズの競技会など多種別の競技会に対応するため、「00」から「99」までを個別に指定できるようになりました。もちろん、これまでの方式も継続してご使用いただけますので、よほどの競技会で、種別に困った時以外は、従来通りの方法で競技会データを作成することをおすすめいたします。

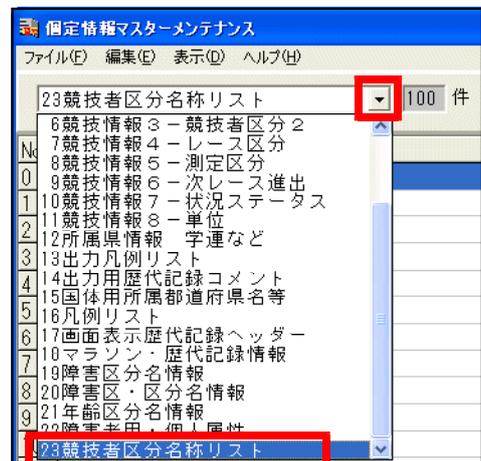
この機能を利用する方法

- 1) 陸上システムメニューから「マスター・メンテナンス」をクリックし、サブメニューから「6. DINST大会初期設定」をクリックします。
- 2) 大会種別・基本設定の「連番種別（個定情報23）使用」にチェックを付けます。



チェックを付けた後、「設定完了」ボタンをクリックします。

- 3) 「3. 固定情報マスター」をクリックします。
- 4) 「23. 競技者区分名称リスト」を選択します。
ここに「0」～「99」まで種別を登録して使用することができます。
登録後は《保存》ボタンをクリックして保存してください。



3. 競技者マスター種目分解CSVインポート・エクスポート

3. 競技者マスター種目分解CSVインポート・エクスポート

競技会の基礎データ競技者マスター情報をExcel等で作成し、CSV形式に保存して陸上システムに読み込む際の読み込み形式に、新しい形式が加わりました。

従来の形式で保存したCSVファイルを「メモ帳」などのテキストエディタで開くと以下のようなデータになっています。

DB	N1	N2	SX	KC	MC	ZK	S1	S2
790928229	新岡 慶介 (3)	ニイカ ケイスケ	1	01	013390	101	09200	05208 05
791122012	宇野 裕也 (3)	ウノ ユヤ	1	01	013553	102	00200	0001123 04,00300 0002241 04
790611024	有山 隆 (3)	アリヤマ タシ	1	01	013553	103	,	
800101034	吉野 悟 (2)	ヨシノ サトル	1	01	013553	104	,	
810716123	奥山 健一郎 (1)	オクヤマ ケンイチロウ	1	01	013553	105	20100	06704 05
820303234	佐藤 直子 (1)	サトウ ナホ	2	01	013553	101	00200	0001432 05,00300 0002452 05

新しい形式では、DBコードが同じであれば同一人と判断し、すでに種目登録があれば2種目目と自動的に判断することができるようになりました。これによりS2, S3, S4と指定する必要がなくなりました。

DB	N1	N2	SX	KC	MC	ZK	S1
790928229	新岡 慶介 (3)	ニイカ ケイスケ	1	01	013390	101	09200 05208 05
791122012	宇野 裕也 (3)	ウノ ユヤ	1	01	013553	102	00200 0001123 04
791122012	宇野 裕也 (3)	ウノ ユヤ	1	01	013553	102	00300 0002241 04
790611024	有山 隆 (3)	アリヤマ タシ	1	01	013553	103	,
800101034	吉野 悟 (2)	ヨシノ サトル	1	01	013553	104	,
810716123	奥山 健一郎 (1)	オクヤマ ケンイチロウ	1	01	013553	105	20100 06704 05
820303234	佐藤 直子 (1)	サトウ ナホ	2	01	013553	101	00200 0001432 05
820303234	佐藤 直子 (1)	サトウ ナホ	2	01	013553	101	00300 0002452 05

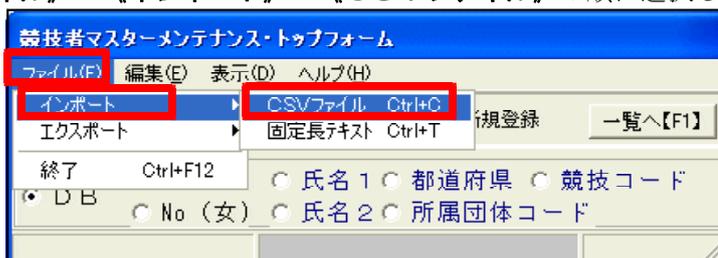
Excelの場合の例。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	DB	N1	N2	SX	KC	MC	ZK	S1
2	125000029	千葉 亮太	千葉 リョウタ	1	27	272002	29	00600 0015713
3	125000029	千葉 亮太	千葉 リョウタ	1	27	272002	29	00800 0000000
4	125000029	千葉 亮太	千葉 リョウタ	1	27	272002	29	01111
5	125000058	高田 恵	タカダ ケイ	1	27	272016	58	00600 0015785
6	125000058	高田 恵	タカダ ケイ	1	27	272016	58	08901 06071
7	125000058	高田 恵	タカダ ケイ	1	27	272016	58	00200 0001056
8	125000029	千葉 亮太	千葉 リョウタ	1	27	272002	29	00200 0001062

この例の場合、千葉選手は1種目目：800m、2種目目：1500m、3種目目：オープン5000m、さらに4種目目：100mに出場することになります。上図のように、競技者は行が連続していなくても、DBコードが同一であれば同競技者と判断し、種目を追加することができます。

◎この形式のCSVファイルインポート方法

- 1) 陸上システムメニューから「マスター・メンテナンス」をクリックし、サブメニューから「1. 競技者マスター」をクリックします。
- 2) 《ファイル》 - 《インポート》 - 《CSVファイル》の順に選択します。

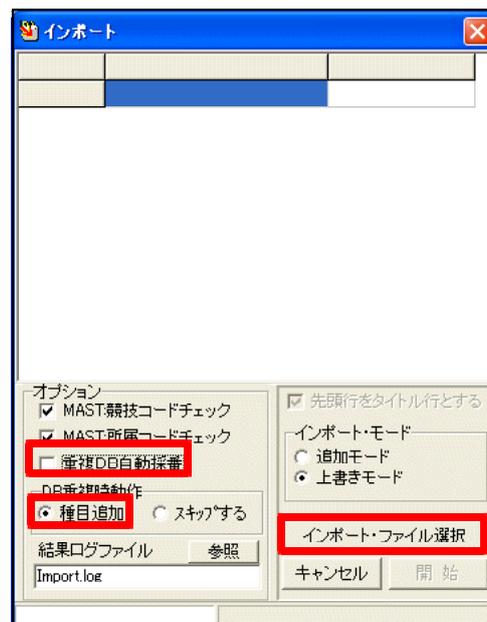


3. 競技者マスター種目分解CSVインポート・エクスポート

- 3) インポートのオプションで「重複DB自動採番」のチェックを外すと、「DB重複時動作」の「種目追加」にチェックが付きます。
この状態で、《インポート・ファイル選択》からCSVファイルを選択し、《開始》ボタンをクリックすると読み込みが始まります。

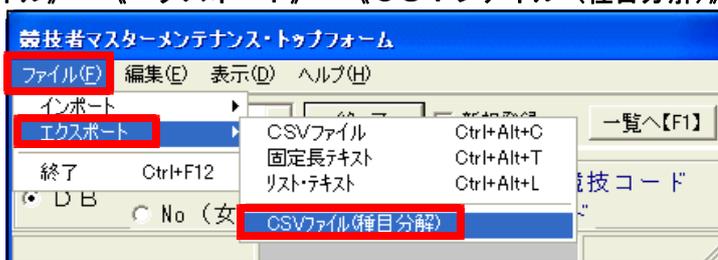
注) 同一DBが複数の選手に使用されないよう十分注意してください。

- 4) 以降は通常のCSV形式の時と同じです。
「エントリー更新」「ナンバー管理」を行ってください。



◎エクスポート（陸上システムデータからCSV形式に出力）の方法

- 1) 陸上システムメニューから「マスター・メンテナンス」をクリックし、サブメニューから「1. 競技者マスター」をクリックします。
- 2) 《ファイル》－《エクスポート》－《CSVファイル（種目分解）》の順に選択します。



CSVファイルの保存先を聞いてきますので、ファイル名を指定して《保存》ボタンをクリックするとこの形式でデータを出力することができます。

4. リレーエントリーCSVデータ縦形式インポート・エクスポート

競技会の基礎データリレーマスター情報をExcel等で作成し、CSV形式に保存して陸上システムに読み込む際の読み込み形式に、新しい形式が加わりました。

通常のリレーCSV形式 (Excelの場合)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	DB	ZK	N1	N2	TM	S1	S2	S3	S4	S5	S6
2	281009		三友電気	ミトモテンキ	4192	128000604	128000605	128000606	128000607	128000608	128000609
3	272010		近畿外大	キンカタイ	4231	129000816	129000817	129000818	129000819	129000820	

登録する選手のDBをS1, S2, S3, S4, S5, S6のIDで横に並べていた。

CSV縦形式の場合

	A	B	C	D	E
1	DB	ZK	N1	N2	TM
2	281009		三友電気	ミトモテンキ	4192
3	128000604				
4	128000605				
5	128000606				
6	128000607				
7	128000608				
8	128000609				
9	272010		近畿外大	キンカタイ	4231
10	129000816				
11	129000817				
12	129000818				
13	129000819				
14	129000820				

「DB」欄に2桁もしくは6桁の数字が入力されている行は、チームの名称、タイムなどの情報と認識し、9桁の数字が入力されている場合は競技者のDBコードと認識します。
読み込まれる順番は、上から1人目、2人目の順です。

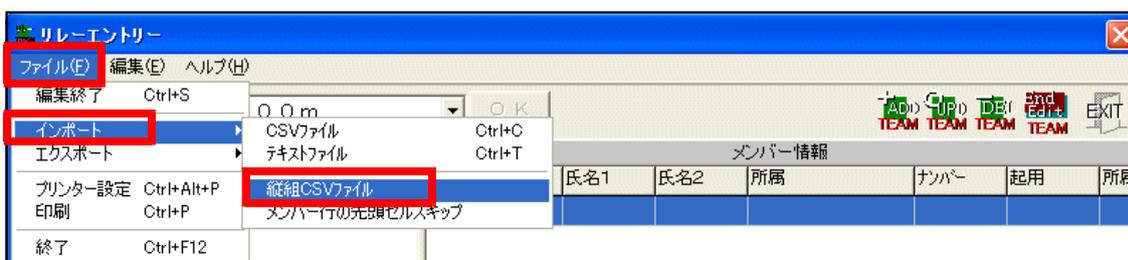
	A	B	C	D	E
1	DB	ZK	N1	N2	TM
2	281009		三友電気	ミトモテンキ	4192
3	281009	128000604			
4	281009	128000605			
5	281009	128000606			
6	281009	128000607			
7	281009	128000608			
8	281009	128000609			
9	272010		近畿外大	キンカタイ	4231
10	272010	129000816			
11	272010	129000817			
12	272010	129000818			
13	272010	129000819			
14	272010	129000820			

また、拡張版として、競技者のコード9桁の前のセルに9桁のコードとは別の値が入力されている場合でも、そこを読み飛ばし、読み込むことができます。

A列には「281009」、B列には「DBコード9桁」が入力されている。この場合も正常に読み込むことができる。

◎縦形式CSVファイルインポート方法

- 1) 陸上システムメニューから「マスター・メンテナンス」をクリックし、サブメニューから「8. リレーエントリー」をクリックします。
- 2) 《ファイル》－《インポート》－《縦組CSVファイル》の順に選択します。



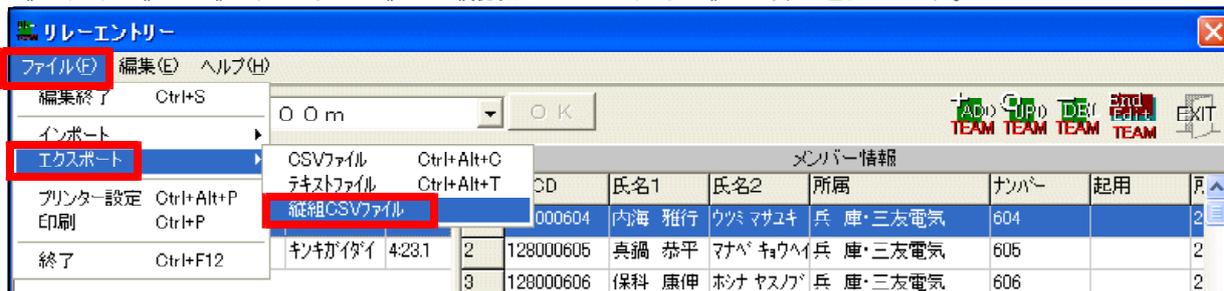
注) 拡張版を読み込む場合は《メンバー行の先頭セルスキップ》にチェックを付けてから《縦組CSVファイル》を選択します。

- 3) 読み込みたいCSVファイルを選択し、《開く》をクリックするとデータが読み込まれます。

5. コンディション情報CSV出力

◎縦組エクスポート（陸上システムデータからCSV形式に出力）の方法

- 1) 陸上システムメニューから「マスター・メンテナンス」をクリックし、サブメニューから「8. リレーエントリー」をクリックします。
- 2) 《ファイル》－《エクスポート》－《縦組CSVファイル》の順に選択します。



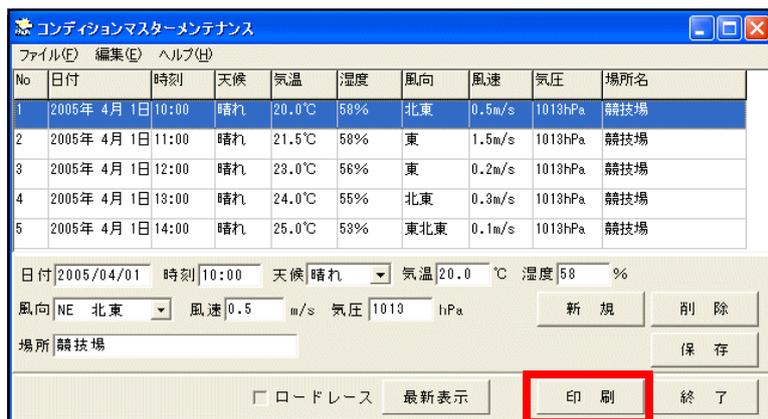
CSVファイルの保存先を聞いてきますので、ファイル名を指定して《保存》ボタンをクリックするとこの形式でデータを出力することができます。

エクスポートではインポートの時のような「拡張版」形式では出力することはできません。

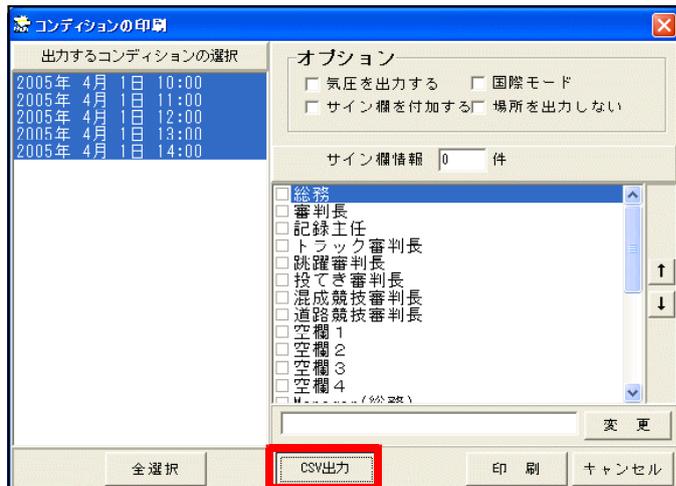
5. コンディション情報CSV出力

コンディション登録画面の情報を、CSV形式に出力できるようになりました。

- 1) コンディションマスターメンテナンス画面で《印刷》ボタンをクリックします。



- 2) 《CSV出力》ボタンをクリックし、保存先を選択し、ファイル名を付けて保存してください。



↓保存したCSVファイルをExcelで開いた場合。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	日付	時刻	天候	気温	湿度	風向	風速	場所名
2	2005年 4月 1日	10:00	晴れ	20.0℃	58%	北東	0.5m/s	競技場
3	2005年 4月 1日	11:00	晴れ	21.5℃	58%	東	1.5m/s	競技場
4	2005年 4月 1日	12:00	晴れ	23.0℃	56%	東	0.2m/s	競技場
5	2005年 4月 1日	13:00	晴れ	24.0℃	55%	北東	0.3m/s	競技場
6	2005年 4月 1日	14:00	晴れ	25.0℃	53%	東北東	0.1m/s	競技場

6. 駅伝メンバーエントリーCSVデータインポート

駅伝競技会の基礎データメンバーエントリー情報を、これまではチームコードもしくは1名ずつ登録していましたが、Excel等でメンバー情報一覧を作成し、CSV形式に保存して陸上システムに読み込むことができるようになりました。

駅伝メンバーエントリーCSV形式 (Excelの場合)

	A	B
1	TM	DB
2	1	850825105
3	1	850530128
4	1	850412137
5	1	860203101
6	1	860715109
7	1	860420048
8	1	860901094
9	1	880104900
10	1	870526900
11	1	871001900
12	2	840623118
13	2	860927071
14	2	850412078
15	2	870706900
16	2	861008094
17	2	860218048
18	2	870708900
19	2	860111043
20	2	870907900
21	2	880119900
22	3	850909059
23	3	850407048
24	3	860728047
25	3	850501059
26	3	871030900

ID	項目名	有効桁	説明
TM	チームナンバー	1～3桁	駅伝初期設定で設定したチームNo.
DB	D B コード	9桁	9桁の個人DBコード

データ項目の並び順は必ず、TM, DBの順である必要があります。
この2項目以外の情報は無視されます。
競技者マスターCSVをもとにすると簡単に作成することができます。

「名前を付けて保存」－「CSV形式」で保存してください。

※このCSVを読み込む前に、駅伝初期設定でチーム登録を行う必要があります。
(以前と同様です。)

◎CSVファイルインポート方法

- 1) 陸上システムメニューから「**駅伝設定**」をクリックし、サブメニューから「**2. 駅伝メンバーエントリー**」をクリックします。
- 2) **《駅伝選択》** からこれからデータをインポートする駅伝競技を選択し、**《OK》** をクリックします。



- 3) **《ファイル》**－**《インポート》**の順に選択します。



- 3) 読み込みたいCSVファイルを選択し、**《開く》** をクリックするとデータが読み込まれます。